

令和4年(2022年)

6月30日

第 778号

発行
学校法人文京学院
http://bgu.ac.jp



〈本郷キャンパス〉

学校法人文京学院
文京学院大学外国語学部・経営学部・
人間部・保健医療技術学部／大学院
／文京学院大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉

文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

中高 「体育祭」パワフルに

中高体育祭が6月1日、武蔵野の森総合スポーツプラザ(調布市)で行われました。

島田美紀中学校副校長の開会宣言後、優勝旗が返還され、清水直樹校長からエールが送られました。引き続き後援会の安藤慎二会長が挨拶。体育祭実行委員長の荒川夢花さん(高3・楓)が生徒宣誓し、待ちに待った競技がスタートしました。

午前中は全学年による「50m走」を皮切りに、音楽に合わせて踊りながら、音楽がストップすると同時に玉入れを始める「踊れ!玉入れ」、ダンボールの箱を積み上げながら運び、リレーする「宅配便リレー」など8種目が行われました。その一つ、中2全員による文京学院伝統のエアロビクス「ミッキー」では、応援の生徒たちも一緒に踊って楽しみました。

午後は先生方と後援会役員代表も参加した「障害物競走」で再スタート。バランスボールに乗って飛び上がりながら速さを競う「バランス・ボディ・クイーン」、心を合せて大人数で挑戦の「大縄跳び」など9種目が行われました。その一つ、中3全員による集団演技「紅蓮華」では華麗に舞い踊る美しさに会場から大きな拍手が沸き起きました。全員がヒートアップしたのは「クラス対抗リレー決勝」と、高校スポーツ科学コースの生徒による「クラス対抗リレー」でした。生徒の持てる力全開の走りと僅差のレースに会場は歓声に包まれました。

今年は中1・高1のレッドブロックが優勝!松本卓哉中学校教頭が点数を発表するたびに大きな拍手で盛り上がりました。清水校長から優勝旗を授与された中1・高1の代表生徒は溢れる笑顔で優勝旗を高々と上げました。佐藤泰正高校副校長の講評の後、島田中学校副校長が閉会宣言し、実行委員会が中心となって企画・運営し、無事成功を収めた体育祭が終りました。以下結果です。

■ ブロック別得点表

レッドブロック(中1・高1)	970点
ブルーブロック(中2・高2)	875点
グリーンブロック(中3・高3)	905点

(3面にてフォトギャラリー掲載)

大学 「30kmウォーキング」3年ぶりに開催

5月21日、本学の伝統行事「30kmウォーキング」が、3年ぶりに開催されました。主催はふじみ野キャンパス学生会本部、本郷キャンパス学生自治会本部。今回、コロナ禍での実施を検討するにあたり、例年の本郷キャンパスからふじみ野キャンパスまでを踏破するという形式から、両キャンパスから出発し、中間地点で合流して学生同士が交流するというイベントに内容を変更しました。当日は本郷キャンパスから48人、ふじみ野キャンパスから43人の合計91人が参加。また、本学との関係大学からは、駿河台大学、大東文化大学、岐阜聖徳学園大学の教職員が参加しました。

オンラインでの出発式後、島田昌和学院長、櫻井隆学長らに見送られ、各キャンパスを出発しましたが、出発後本郷キャンパスから出発した参加者はすぐに大雨に見舞われ、残念ながら歩行中止となりました。ふじみ野キャンパスを出発した参加者は最後の一区間で雨に見舞われましたが、無事に15kmを踏破しました。

参 加 者 の コ メ ン ト

人間学部4年 松崎 広直

今回30kmウォーキングに参加した理由は、自身の運動不足の解消のためです。感染症の影響により距離は15kmとなってしまい、3年前に参加した時と比べればだいぶ楽なのではないかと思っていました。しかし、当日の突然の大雨により、体温の低下や濡れて靴が重くなつしていました。ゴールする頃には疲労が蓄積し、日ごろの運動不足を痛感しました。

30kmウォーキングは、日頃の生活では感じることのできないような達成感があり、それがこのイベントの醍醐味なのではないかと思っています。

保健医療技術学部3年 荒船 萌乃

普段は家と学校とバイトの往復のみで、体を動かすことがあまりなく、運動不足を解消することや思い出作りのために参加しました。友人と一緒に参加するため、どのような景色が見られるのかも楽しみでした。最後の3kmで雨が強くなつてしましましたが、友人と一緒であつたためゴールまで歩き終えることができました。普段はバスで通学しているので、大学付近にどのようなお店があり自然があるのかを知りませんでした。歩きながら自然に触れるなどして、素敵な経験ができました。

学生自治会 本部 会長 佐藤 駿馬

新型コロナウイルス感染症の影響による2度の中止を乗り越え、ようやく開催できることを喜んだ当日、本郷キャンパスから出発した参加者は出発早々大雨により継続不可で中止という判断をせざるをえませんでした。

一方、ふじみ野キャンパスから出発した参加者が皆さん笑顔でゴールする姿を見たときは、開催できた喜びもひとしおでした。運営側としては、本郷キャンパスからの参加者にもこのイベントの達成感を味わってほしかったと本当に残念に思っています。



ふじみ野キャンパスから出発した参加者の様子



本郷キャンパスから出発した参加者の集合写真

大学 東京電機大学との連携協力に関する包括協定を締結 ～異領域大学間協定で教育・研究向上と社会貢献を目指す～

6月9日、本学と、東京電機大学(学長:射場本忠彦)との大学間の連携協力に関する包括協定締結式が本学本郷キャンパスにて実施されました。

本学と東京電機大学は、設置している学部・学科が異なる専門域となる大学です。今回の協定は、両大学の異なる専門分野の研究成果を共有することで、両大学の将来に向け

た教育・研究・社会貢献活動などの構築を目的としています。これまで埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として連携してきましたが、本協定締結を契機に、共同研究を手始めとして、両大学の学生や教職員の交流機会を増やし、従来以上の連携体制を形成し更なる発展に繋げていきます。

東京電機大学と文京学院大学との 包括連携に関する協定 締結式

TDU 東京電機大学 文京学院大学



東京電機大学射場本学長(左)と櫻井隆学長(右)

GREEN SPIRITS

身边にある「世界」

外国語学研究科特任教授・
副学長・GSI機構長
恒吉 優子

今日、日本社会は自国だけで完結しているわけではありません。グローバル化の中で、一国だけを見ていては、その国のことさえ見誤ってしまいます。そして、日本社会の中で起きていることが、グローバルな動きや課題とつながっていることを実感でき、それに対応するにはどうすべきかを多様な人と共に考えられる力が、次の世代には求められています。

例えば、日本社会は過去何十年と「外国人労働者」や「国際結婚」の増加等、文化的に多様化してきました。しかし、どれだけの若者がこうした多様性を日常的に実感できているでしょうか。開発途上国において起きていることも、どことなく「違いもの」として感じていなさいでしまう。

異なる文化に触れることによって自分の文化を相対化し、今まで当たり前だと思っていたことがそうではないことに気付き、新たな目で物事を見る・・・。国際化が遅れていると批判してきた日本の教育ですが、自分事として国際社会で起きていることを見る眼差しを獲得することはこれからの時代を生きる若者には不可欠です。

留学や留学生受け入れ等に力を入れてきた文京学院大学ですが、2020年から問題になってきた新型コロナウイルス感染症拡大によって、国境を越えた移動が困難

な時期が続きました。

しかしながら、こうした状況の中でも多文化の存在、グローバルな視点が日常的に育っていくように、そして、国際的に汎用性が高い言語としての英語をツールとして使いながら考えの違う人々と触れ合い、異文化的な視点を獲得していく様子が見えてきました。今年度からはアメリカカウンシル・シンジケートにメインキャンパスを持つ、LAKE LAND UNIVERSITY JAPAN CAMPUSとの国内留学、と日常的に行き来することができるようになりました。さらに、従来からウクライナ情勢に対する本学の姿勢を示していましたが、新たにウクライナの人々の受け入れを表明しました。また、文京学院大学女子中学校高等学校でもグローバルリーダー教育の委員会ができました。今後とも、多様な「グローバル」が日常的に感じられる環境づくりをお手伝いしたいと思います。

大学 きめ細かな就職サポート

文部科学省・厚生労働省共同調査による2021年度の全国大学卒業生就職率は、95.8%でした(4月1日現在)。

吉村 郁夫 本郷キャンパスディレクター補佐
キャリアセンター長

外国语学部に関する情報通信業界を中心に就職していますが、航空関係を中心としたサービス業などを希望していた学生は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、進路変更あるいは再考を余儀なくされました。経営学部は、ビジネス実践型授業の成果を活かしIT企業はじめ幅広い業界、職種に就職しています。人間学部コミュニケーション社会学科と人間福祉学科福祉マネジメントコースの卒業生はそれぞれ専門知識を生かして幅広い業界に就職しました。保健医療技術学部臨検査学科は卒業生の六人に一人の割合で大学院に進学したほか、就職希望者のほとんどが専門職に就いています。看護学科は順調に就職活動を進め、十二月には大学病院をはじめ就職希望者全員が内定を得ました。

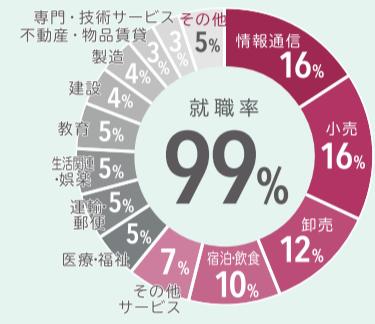
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会社説明会や選考手法もオンラインにシフトする会社が増えました。また、インターネットからそのまま選考に進むといった早期化の傾向も出てまいりました。こういった就職環境の変化に対しては、これまで以上に早期にかつ充分な事前準備が求められています。たとえば、低学年からインターンシップに積極的に参加して、働く側の視点を学ぶこと、会社はどのようなスキルや人材を求めているかを理解し、自分の強みがどのように生かせるかをアピールできるようにしておくことも必要です。更には、オンライン説明会・面接への対応も必要です。

キャリアセンターでは、低学年対象とした就職支援サポートの充実に力を入れるとともに、従来の筆記試験対策講座に加えて「公務員試験対策講座」も実施しています。

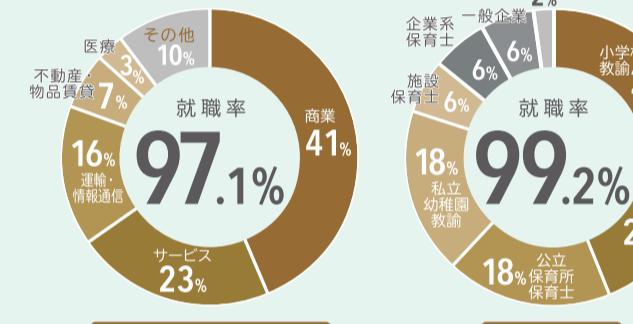
今年度も学生一人ひとりの特性を見極めながら寄り添い、低学年から将来をイメージし「納得の就職」が実現できるよう、キャリア支援の強化にも取り組んでまいります。

各学部卒業生就職先

■ 外国語学部



■ 人間学部

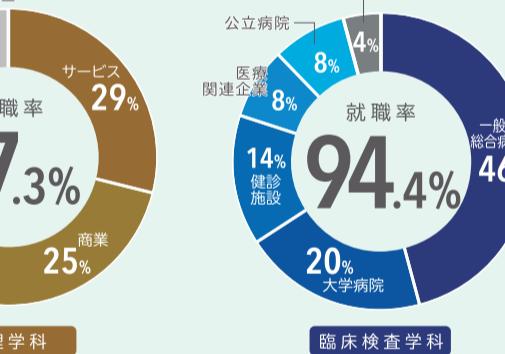
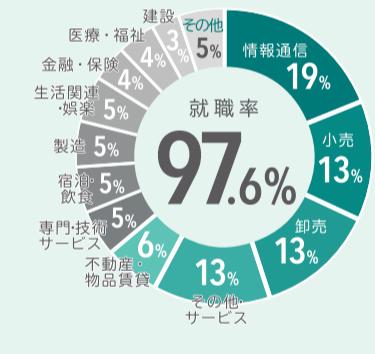


業界別割合と就職率

■ 保健医療技術学部



■ 経営学部



業界別割合と就職率

■ 人間学部

■ 心理学科

■ 臨床検査学科

■ 看護学科

大学 高い国家試験合格率

2021年度保健医療技術学部5資格の国家試験と、人間学部3資格の国家試験の結果について、両学部長が分析しました。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受け、必ずしも十分な国家試験対策を行うことができませんでした。国家試験対策直前の追い込みの時期にオミクロン株の蔓延がピークを迎え、対面での国家試験対策は大きく制限を受けました。国家試験当日に感染が明らかな場合は、受験することができないため、オンラインでのグループ学習に切り替えるをえない状況でした。しかし、その中で学生は最大限の努力をしました。教職員のさまざまな支援の中、多くの学生が国家試験合格を果たしました。国家試験合格は、入学時の重要な目標になりますが、それは臨床家として活躍するための最低条件でもあります。国家試験合格と、つらい思いをしている対象者に寄り添える高い対人援助技術を持った医療従事者という質の高い卒業生を輩出すべく、2022年度も教職員協力しながら、学生の学びの支援をしていきたいと思います。

2021年度国家試験合格実績(既卒含まず)

保健医療技術学部

資格	理学療法士	作業療法士	臨床検査技師	看護師	保健師
受験者	77名	33名	74名	71名	8名
合格者	75名	32名	64名	71名	8名
合格率	97.4%	97.0%	86.5%	100%	100%
全国平均合格率(現役)	88.1%	88.7%	86.4%	96.5%	89.3%

人間学部

資格	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士
受験者	33名	11名	14名
合格者	18名	11名	10名
合格率	54.5%	100%	71.4%
全国平均合格率(現役)	31.1%	72.3%	65.6%

神作一実 保健医療技術学部 学部長・教授

樋島香代 人間学部 学部長・教授

2021年度国家試験合格実績(既卒含まず)

人間学部

資格	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士
受験者	33名	11名	14名
合格者	18名	11名	10名
合格率	54.5%	100%	71.4%
全国平均合格率(現役)	31.1%	72.3%	65.6%

中高 芸術鑑賞会

中高 芸術鑑賞会

6月6日、中高の芸術鑑賞が大同生命ミュージカルシアター電通四季劇場「海」で行われました。

鑑賞の演目は『アラジン』。『千夜一夜物語』の『アラジンと魔法のランプ』を原案としており、魔法の絨毯で世界中を旅するシーンで流れる曲『ホール・ニュー・ワールド』はアカデミー賞受賞を受賞したことのある大変有名な演目で、ディズニー・ルネサンスと呼ばれる時期に作られた、ディズニーの成功作のひとつです。砂漠の王アラジバーに暮らす、貧しくも清らかな心を持つ青年アラジンが、ジャスミン姫と出会う定番のストーリーは誰もが知るところです。

生徒たちも、口マンチックなアラビアの舞台設定や二人の恋が成就するハッピーエンドに胸を膨らませながらも、アラジンの葛藤と成長、アラジンに寄り添い励ましつづけるランプの魔人・ジーニーとの信頼関係の大変さに気づいていたようです。

劇団四季が用意してくれた口マンと人の勇気の大変さを教えてくれる素晴らしいお話に、生徒たちも最後はスタンディングオベーション。劇団四季の皆さんも、3度もカーテンコールで応えられて、大変満足した一日となりました。

高校 バレーボール部

関東大会「第3位」、インターハイ東京都予選「第4位」

【関東大会】

1回戦 本校 2-0 狹山ヶ丘高

6回戦 本校 2-0 実践学園高

【インターハイ東京都予選】

2回戦 本校 2-0 敬愛学園高

準々決勝 本校 2-0 淑徳SC高

【3回戦】

3回戦 本校 2-0 三浦学苑高

決勝リーグ 本校 0-2 八王子実践高

【準々決勝】

準々決勝 本校 2-0 相洋高

決勝リーグ 本校 0-2 下北沢成徳高

【準決勝】

準決勝 本校 1-2 下北沢成徳高

決勝リーグ 本校 1-2 共栄学園高



大学

総合研究所共同研究発表会 全23チームが発表

「総合研究所共同研究発表会」が5月21日、オンラインにて行われました。

2021年度に採択され、1年間にわたり共同研究に取り組んできた23チームの各代表教員が、各グループに分かれて研究プロセスや成果、課題などについて発表しました。(敬称略)

外国語学部

「子どもアドボカシーと持続可能な開発目標達成(SDGs)に向けた取り組み」
甲斐田万智子、南雲勇多

「本学キャリア教育の改善における実証研究—意識改革を中心とした取り組み（継続）」
高橋修一郎、草野千秋、石村友二郎、山西均

「Graphic Organizersを活用した語彙学習に有効なループリックの探求：内容言語統合型学習(CLIL)の場合」
椿まゆみ、満尾貞行、植山剛行

「第二言語学習における動機づけのメカニズムの研究：日本で学ぶ英語学習者への動機づけ方略の提案」
松崎武志、諸井貴子

「サイバー安全保障の現状：台湾の事例を中心に」
岡本至、浜正樹

「ウルグアイにおける文化的映像力のグローバル的価値と異文化理解」
桑子順子、倉嶋正彦、石黒久仁子

経営学部

「消費者の行動変容に関する研究—ビジュアルによる誘導と共感の共有」
新田都志子、倉嶋正彦、押切孝雄

人間学部

「わが国における保健医療ソーシャルワークの発展と実践—大学卒業後の現任教員と実習の課題を中心に」
笹岡真弓、田嶋英行、鳥羽美香、中島修、長竹教夫、森和子、湯浅典人、篠原純史、佐藤杏

「福祉サービス提供組織におけるOff-JTの実践(2)」
田嶋英行、鳥羽美香、武田和久

保健医療技術学部

「血管内過凝固状態における血球細胞動態の解明および検査法の開発」
濱田悦子、川良徳弘、前川真人

「高齢者施設入居者より検出された口腔内細菌に対する洗口剤の有効性の検討」
眞野容子、神作一実

「腸疾患における腸管収縮反応の検討～平滑筋組織と腸組織の差異」
野部裕美、正保哲、雨宮樹奈

「自然歩行における基本的歩行パラメータとFree momentの関係について」
大川孝浩、千代丸正志、上田泰久、西村沙紀子、飯田開

「脳卒中者の家族介護者の生活の再構築過程について：質的研究」
松井香那葉、西方浩一、柴田貴美子

「尿路結石症再発スクリーニング濁度法へのTamm-Horsfall proteinの関与③」
川上保子、大久保滋夫、酒井直樹

「酪酸菌発酵エキスによるヒト細胞に与える影響」
下垣里河、飯島史朗、宮本裕一

「生体内でプロレニンが担う役割についての基礎的検討」
藤本和実、下垣里河、川島麗

「下肢静脈疾患患者における筋ポンプと呼吸ポンプの相互作用」
正保哲、川良徳弘、増山里枝子、野部裕美

学長裁量経費

「『子宮頸がんリスクの啓蒙と予防』『新たな教育の在り方』共通の副題：学生と外部組織との連携による問題解決」
外国語学部：渡部吉昭

「VRを用いた触診技術教材の開発」
保健医療技術学部：山崎敦、中俣修、具志堅敏、福井勉、東城俊太郎、鈴木勲

「ピア・ラーニングを促進する魅力あるDX対応教育コンテンツの開発」
経営学部：小松香爾、長野祐一郎、馬渡一浩、公野勉、新田都志子

「遠隔教育にともなう学生のストレス状態把握と解消法の提案」
人間学部：長野祐一郎、正保哲、畠倫子

「360°カメラを装着したシミュレーターを用いた手術直後に患者の観察シミュレーション演習—患者視点からのデブリーフィング効果の検証ー」
保健医療技術学部：今井亮、國分秀人

大学

3年ぶり開催「中津川リレーマラソン」で本学学生活躍

5月29日「第5回清流木曽川 中津川リレーマラソン大会」が岐阜県中津川市、中津川公園にて開催されました。これはチームでタスキをつなぎながら約42キロの距離（1周約2.1kmのコースを20周）またはハーフ（10周）を走るマラソン大会です。感染症の影響から3年ぶりの開催となる本大会に本学からは2チームがハーフの部に参加しました。メンバーは活躍中の学生団体の有志、学生自治会本部（4名）と文京祭実行委員会（4名）からなるチーム「文京学院大学」と、今夏に開催される五街道ウォークの学生実

行委員（6名）からなるチーム「五街道ウォーク」がエントリー。学生たちはスタート前に中京学院大学のテントを訪問し、交流ならびにエールを交換しました。またレースでも力強い走りを見せ、全49チーム中「文京学院大学」6位、「五街道ウォーク」14位と健闘するとともに、2チームとも特別賞「遠来賞」を受賞しました。

中津川市ならびに中津川市にキャンパスを置く中京学院大学と協定を締結し、交流を続けてきた本学にとって、約3年ぶりの中津川市訪問となる貴重な機会となりました。



中京学院大学から激励メッセージを受ける本学の学生



チームワーク良く走り切ったメンバー



最後は全員でゴール

ひたむき・まえむき・おもむき
tomoちゃん

第83回

画：美術部（高校）Peiwa



大学

2年連続開花の兆し。奇跡の花「リュウゼツラン」ふじみ野キャンパスで

昨年ふじみ野キャンパスでは、50年に一度きりの花を咲かせる「リュウゼツラン」が開花し見事な黄色い花が咲き誇りました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、近隣住民にも一般公開されました。そして、今年は新たに2本の株から茎が伸び開花の兆しを見せてています。

リュウゼツランの成長記録として、リュウゼツランの公式インスタグラムを開設し発信しています。また、7月1日からは一般公開を予定しています。ぜひ本学の奇跡の花の成長の様子をご覧ください。



昨年開花したリュウゼツラン



大学

TikTok 公式アカウント開設

TikTok公式アカウント「【公式】文京学院大学」を開設しました。TikTokは、SNSの中でも10代・20代を中心に利用者数が年々増加しており、その影響力の高さから、本学でも魅力を発信していきます。

既に、ふじみ野キャンパスに咲く奇跡の花といわれるリュウゼツランについてや、着ぐるみ「tomoちゃん」の紹介、経営学部生が制作するOshino Sensei no Channel「おせんちゃん」動画CM、外国語学部甲斐田万智子教授のゼミ授業風景などを見ることができます。今後は、学生、大学教員自ら撮影・編集をして、大学内外の活動や授業の様子、また、大学施設の魅力などを発信していきますので、是非フォローしてください。